お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

ホームページのご案内

象印マホービン　お客様サポートサイト
http://www.zojirushi.co.jp/toiawase/

お客様ご相談センター フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-345135**
※携帯・PHSからもご利用になれます。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

- 一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ…………………TEL (06)6356-2451(有料)
- FAXでのお問い合わせ………FAX (06)6356-6143(有料)
  製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。
  〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」の個人情報は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために、弊社グループ会社および協力会社との間で共同利用させていただく場合がございますのでご了承願います。

保証書

コーヒーメーカー保証書　持込修理

取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。この製品は持込修理対象製品ですので、郵送などで修理依頼された場合の送料などはお客様負担となります。

型名	EC-VL60	修理メモ
※お客様 お名前	電話番号	
※お客様 ご住所 〒		
※お買い上げ日　年　月　日	※販売店名・住所・電話番号	
保証期間 お買い上げ日より **本体1年**		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

1. ご転居・ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にご連絡ください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤りや不当な修理・改造による故障および損傷。
   (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
   (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害・塩害・ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧・指定外の使用電源(電圧・周波数)などによる故障および損傷。
   (ニ) 一般家庭用以外(たとえば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
   (ホ) 車両・船舶などに搭載された場合の故障および損傷。
   (ヘ) 本書のご提示がない場合。
   (ト) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
   (チ) 消耗品などの交換。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

- お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社
〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号　電話 (06)6356-2451

愛情点検　長年ご使用のコーヒーメーカーの点検を！

こんな症状はありませんか
- ご使用中、コード・差込みプラグが異常に熱くなる
- 焦げくさいにおいがする
- 製品の一部に割れ・がたつき・緩みがある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止
こんな症状のときは、故障や事故防止のため、使用を中止し、コンセントから差込みプラグを抜いて、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。

ZOJIRUSHI　家庭用

コーヒーメーカー
珈琲通®
型名 EC-VL60 型
取扱説明書

- このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

保証書つき

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告 死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。	⚠注意 軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。

■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。

してはいけない「禁止」内容です。	実行しなければならない「指示」内容です。

⚠警 告

分解禁止

改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

水ぬれ禁止

本体を水に浸けたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。

コードや差込みプラグを液体に浸けたり、液体をかけたりしない
ショート・感電の恐れがあります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない
感電・けがの恐れがあります。

接触禁止

蒸気口に触ったり、手や顔を近づけない
やけどの恐れがあります。
特に乳幼児には触らせないようご注意ください。

禁 止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがの恐れがあります。

交流100V以外では使用しない
火災・感電の原因になります。

ガラス容器なしで使わない
やけどの恐れがあります。

コードを傷つけない
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁 止

コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

必ず実施

差込みプラグは根元まで確実に差し込む
感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。

差込みプラグの刃（プラグの先端）および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よくふく
火災の原因になります。

異常・故障時には、直ちに使用を中止する
そのまま使用すると発煙・発火・感電・けがの原因になります。
<異常・故障例>
- ●コードや差込みプラグが異常に熱くなる
- ●コードに深い傷や変形がある
- ●焦げくさいにおいがする
- ●製品の一部に割れ・がたつき・緩みがある
- ●コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- ●スイッチを入れても動かない
- ●本体から水漏れする

このような場合は、すぐに差込みプラグを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼する

⚠注 意

接触禁止

使用中や使用後しばらくは高温部（蒸気口やバスケットなど）に手を触れない
やけど・けがの恐れがあります。

接触禁止

ミルケースに手を入れない
内部の刃でけがをする恐れがあります。

●お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。
●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠注 意

禁 止

熱に弱い敷物の上では使用しない
火災の原因になります。

不安定な場所では使用しない
やけど・けがの恐れがあります。

ガラス容器を載せたまま本体を動かさない
やけど・けがの恐れがあります。

ドリップ中にガラス容器をはずさない
やけどの恐れがあります。

壁や家具の近くで使わない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

火気の近くで使用しない
火災の原因になります。

禁 止

ドリップ中は水をつぎ足さない
コーヒーがあふれて、やけどの恐れがあります。

水タンクに水を入れて取りつけたあとは、本体からはずしたり、動かしたりしない
やけど・水漏れ・故障の原因になります。

プラグを抜く

使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

必ず実施

お手入れは冷めてから行う
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く
感電・ショート・発火の原因になります。

お願い

■ガラス容器を直火にかけたり電子レンジで使用しない
割れたり、とっ手が変形したり金属部から火花が飛び散る原因になります。

■水タンクに水以外のものを入れない
牛乳・酒・コーヒー・湯など、水以外のものを水タンクに入れると故障の原因になります。

■他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない
蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

■続けてコーヒーを作る場合はスイッチを「切」にして、5分以上待つ
本体が熱いうちに給水したり動かしたりすると、浄水フィルターから突然蒸気や熱湯が出て、やけどの恐れがあります。

■ガラス容器は、落としたり固いものにぶつけたりしない
ガラスが割れてけがの恐れがあります。

■空だきはしない
保温時以外に水タンクに水を入れずに通電すると故障の原因になります。

■屋外で使用しない
故障の原因になります。

■使用中や使用後しばらくはバスケットの下に手を入れない
湯が垂れて、やけどの恐れがあります。

■カーペット・布製のテーブルクロスの上では使用しない
コーヒーが飛び散る恐れがあります。

■水にぬれた場所で使用しない
感電の恐れがあります。

■細挽き粉を使用しない
コーヒーがあふれて、やけどの恐れがあります。

■計量スプーンのコーヒーカップ用すりきり6杯（約42g）を超えるコーヒー粉を入れない
コーヒーがあふれて、やけどの恐れがあります。

■水タンクに水を入れたまま放置しない
故障・変色・におい・腐敗の原因になります。

■使い終わったら、必ずスイッチを切り、差込みプラグをコンセントから抜く
長時間通電を繰り返しされると故障の原因となり、異常加熱や発煙する場合があります。

■ドリップ直後にペーパーフィルターを直接触らない
やけどの恐れがあります。

■テーブルからはみ出した状態で使用しない
けが・やけどの恐れがあります。

■ガラス容器が熱いうちに水の中に入れたり、水をかけたり、ぬれた場所に置かない
傷がつくと破損しやすくなります。
もし割れた場合は、取り除くときに手を切らないよう十分ご注意ください。

各部のなまえ

水タンクふた
水タンク（着脱式）
水タンク目盛
バスケット（着脱式）
ミルふた
ミルボタン
ミル刃
ブラシ収納部
ミルケース
蒸気口
ミルスイッチ部
コード
差込みプラグ
結束バンド
バスケットホルダー（着脱式）
本体
湯出口
浄水フィルター
（繊維状の活性炭入り）
保温板
ランプ
●スイッチを「入」にするとランプが点灯
スイッチ
ガラス容器ふた
ガラス容器（ジャグ）
とっ手
ガラス容器目盛

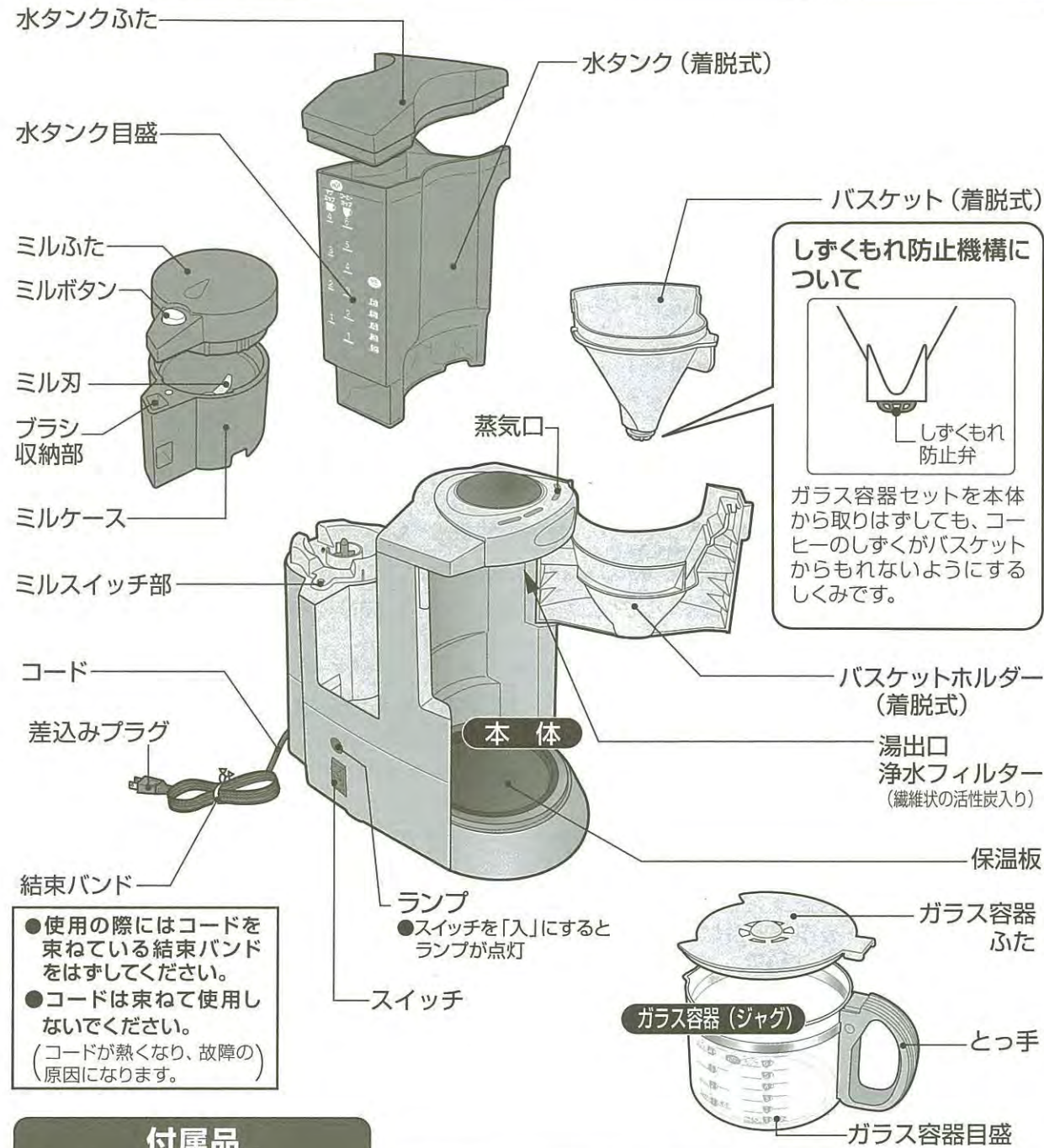
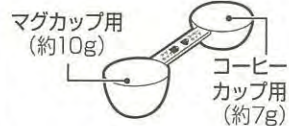
しずくもれ防止機構について

しずくもれ防止弁

ガラス容器セットを本体から取りはずしても、コーヒーのしずくがバスケットからもれないようにするしくみです。

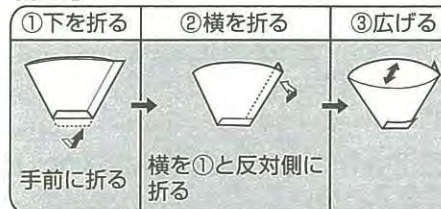
●使用の際にはコードを束ねている結束バンドをはずしてください。
●コードは束ねて使用しないでください。
（コードが熱くなり、故障の原因になります。）

付属品

計量スプーン
（すりきり一杯で使用）
マグカップ用（約10g）
コーヒーカップ用（約7g）

ミルケースブラシ

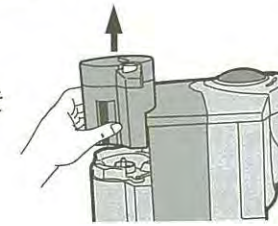
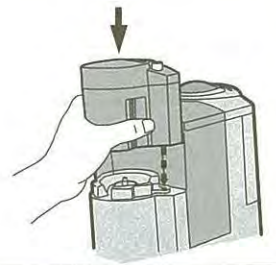
ペーパーフィルター（2枚）
ペーパーフィルターがなくなったときは、市販のサイズ（1×2）または（102）をお求めください。

折り方

①下を折る	②横を折る	③広げる
手前に折る	横を①と反対側に折る	

●ペーパーフィルターがバスケットからはみ出さないように折り幅を調節してください。

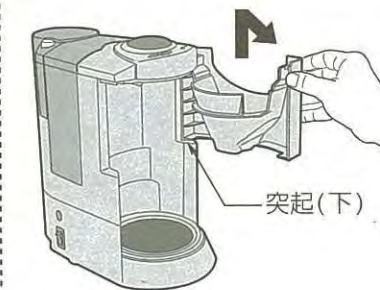
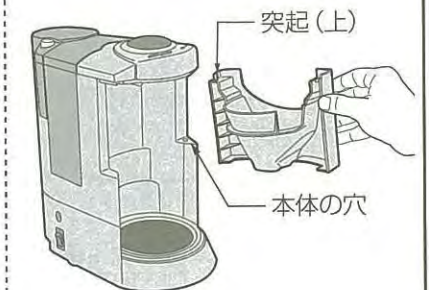
各部の扱い方

ミルケース

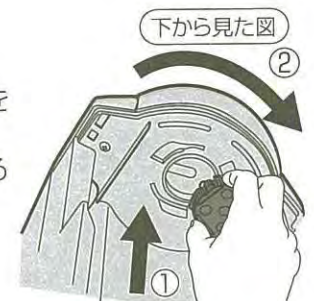
はずし方
ミルケースの側面を持って、持ち上げる

取りつけ方
本体とミルケースのスイッチ部の位置を合わせて取りつける

バスケット・バスケットホルダー

●ガラス容器を取り出してから行ってください。

バスケットの取り出し方
①バスケットホルダーのとっ手を持って開ける
②バスケットを取り出す

バスケットホルダーのはずし方
バスケットホルダーを押し上げて、突起（下）を浮かせてからはずす

バスケットホルダーの取りつけ方
突起（上）を差し込んでから、突起（下）を本体の穴に合わせてはめ込む

浄水フィルター

はずし方
矢印の方向に回してはずす

取りつけ方
①浄水フィルターのツメ部を本体の凹部に合わせる
②矢印方向に回して固定する

●浄水フィルターはガラス容器を取り出したあと、本体が十分に冷めてからはずしてください。（やけどの恐れ）
●水質などにより、浄水フィルターが変色（茶色）することがありますが、使用上差しつかえありません。
●定期的に交換してください。約2年に1回が交換の目安です。（1日1回使用した場合）

使い方

●初めてお使いになるとき ●長期間お使いにならなかったとき	浄水フィルター・ガラス容器・バスケットなどを洗い、水だけで1～2回ドリップして本体内部を洗浄してください。

●この製品は家庭用です。業務用として使用しないでください。
●この製品はコーヒーを作るためのものです。**コーヒーを作ること以外には使用しないでください。**
水以外のもの（牛乳・酒・コーヒー・湯など）を水タンクに入れると故障の原因になります。
●使いはじめはプラスチックのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。
また、黒い粉が落ちることがありますが、これは浄水用の活性炭で無害ですので使用上差しつかえありません。

ミル

1 コーヒー豆を入れる

ミルケースにコーヒー豆を入れ、ミルふたを閉める

●計量スプーンのすりきり6杯（コーヒーカップ）または4杯（マグカップ）を超える豆を入れないでください。
●ミルふたはしっかり閉めてください。ミルふたが開いていると、豆が飛び散ります。

標準使用量

	カップ数	コーヒー豆量 (計量スプーンすりきり)
コーヒーカップ	6カップ	6杯(約42g)
	5カップ	5杯(約35g)
	4カップ	4杯(約28g)
	3カップ	3杯(約21g)
	2カップ	2杯(約14g)
	1カップ	1杯(約7g)
マグカップ	4カップ	4杯(約40g)
	3カップ	3杯(約30g)
	2カップ	2杯(約20g)
	1カップ	1杯(約10g)

2 スイッチを「（切）（ミル入）」にして差込みプラグを差し込む

3 ミルボタンを押してコーヒー豆を挽く

ミルふたを手で押さえながら、約15秒間ミルボタンを押して豆を挽く

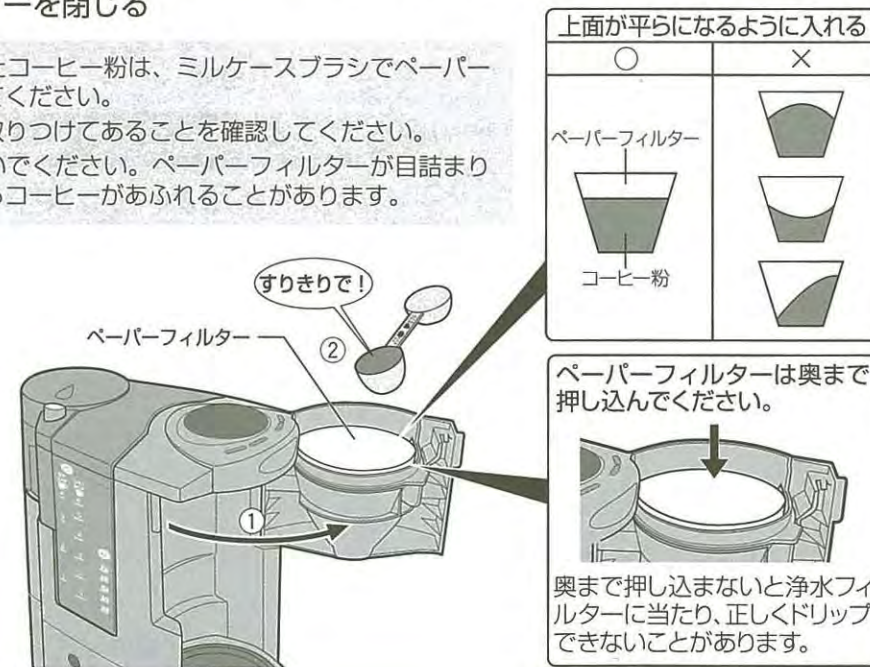
●15秒は、中びきの目安です。
豆の種類や量などお好みにより調節してください。
●ミルボタンを押し終わってもしばらくは中のミル刃が回っています。
完全に停止したことを確認してから、ミルふたをはずしてください。
●25秒以上挽かないでください。微粉が多くなり、ペーパーフィルターが目詰まりしてコーヒーがあふれたり故障の原因になります。
●ミルを連続で使用したり、コーヒー豆以外の材料を挽いたりしないでください。（故障の原因になります。）
●ミルスイッチ部を細い棒などで絶対に押さないでください。
（けがの恐れがあります。）

ドリップ

1 コーヒー粉を入れる

①バスケットホルダーを開き、バスケットにペーパーフィルターを取りつける
②本体からミルケースをはずし、挽いたコーヒー粉をペーパーフィルターに入れる
③バスケットホルダーを閉じる

●ミルケースに残ったコーヒー粉は、ミルケースブラシでペーパーフィルターに移してください。
●浄水フィルターが取りつけてあることを確認してください。
●細びき粉は使わないでください。ペーパーフィルターが目詰まりし、バスケットからコーヒーがあふれることがあります。

奥まで押し込まないと浄水フィルターに当たり、正しくドリップできないことがあります。

2 水タンクに水を入れる

①水タンクを本体からはずす

●本体を押さえて水タンクをはずしてください。本体が持ち上がり、落下することがあります。（蒸気口には手を触れないでください。）

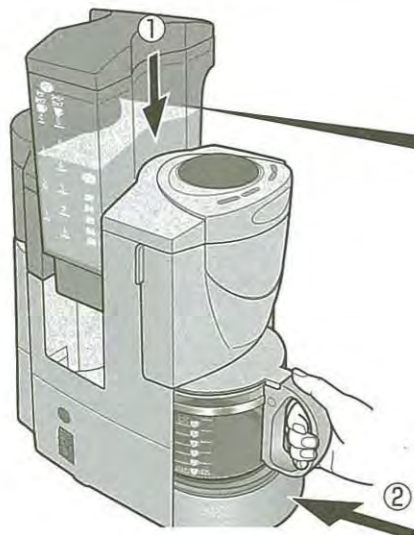
②作るコーヒーの量の水タンク目盛まで水を入れ、水タンクふたを取りつける

●水タンク目盛の HOT コーヒーカップ用「6」を超える水を入れないでください。また、ドリップ中は水タンクに水をつぎたさないでください。ガラス容器からコーヒーがあふれる恐れがあります。
●水タンクに湯を入れないでください。水タンクの変形や湯が飛び散る原因になります。
●ガラス容器目盛は、水タンクへ入れる水量とコーヒーのできあがる量の目安を示しています。
●水タンクを本体に取りつけたまま水を入れないでください。

使い方 つづき

3 水タンク・ガラス容器を本体に取りつける

①水タンクを根元まで確実に差し込む
②ガラス容器を保温板に載せる
●ガラス容器は保温板にこすれないように載せてください。

●ガラス容器には必ずガラス容器ふたを取りつけてください。しずくもれ防止弁が開かずバスケットからコーヒーがあふれます。
●ガラス容器は、しずくもれ防止弁に無理な力を加えないように静かに載せてください。
●保温板が汚れたり、水分がついたりした状態で使用すると、保温板の塗装がはがれたり、変色する原因になります。

水タンクは根元まで確実に差し込んでください。

根元まで差し込まれていないと故障の原因になります。
また、ドリップ中に湯が出ないことがあります。

①本体に沿ってまっすぐ差し込む

②根元まで確実に差し込む

4 スイッチを入れる

差込みプラグをコンセントに差込み、スイッチを「入」にする

できあがり時間の目安（水温・室温約20℃の場合）

カップ数	1	2	3	4	5	6
コーヒーカップ	2.5分	4.5分	6分	7.5分	8.5分	10分
マグカップ	3.5分	6分	8分	10分	—	—

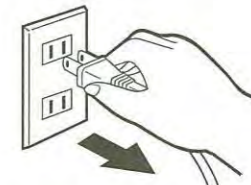
●できあがり時間は、水量・室温・粉の量などでかわります。
●本体を水にぬれた場所で使用しないでください。感電の原因になります。

5 ドリップが完了したら スイッチを切り、コーヒーを注ぐ

①コーヒーができあがったら、スイッチを「切（ミル入）」にする
②ガラス容器を取り出して、コーヒーカップに注ぐ
●ガラス容器は保温板にこすれないように取り出してください。
●このコーヒーメーカーは豆本来の味わいを引き出すため、ドリップのときの湯温を高く設定しています。そのため**コーヒー豆に含まれる油分がコーヒー表面に浮くことがありますが、コーヒーの味、その他に影響はありません。**

●極端に傾けるとガラス容器ふたがはずれる恐れがありますのでご注意ください。

6 使用後は

必ずスイッチを「切」にしたあと、差込みプラグを持ってコンセントから抜く
●「切」にするとランプが消灯します。

●水タンクに水が残った状態で水タンクをはずすと、水タンクより水が垂れることがあります。

■途中でやめるときは…

①スイッチを「切」にして、差込みプラグをコンセントから抜く
②バスケットから湯が出なくなったことを確認し、ガラス容器とバスケットを取り出す
③保温板が冷めてから水タンクに残っている水を捨てる

■保温を続けるときは…

①スイッチは「入」にしておく
②ガラス容器にガラス容器ふたをしたまま保温する
●長時間保温しますと、香りがぬけ、風味が悪くなりますので、保温する時間は15分くらいまでにしてください。

■熱いコーヒーをお好みの方は…

●あらかじめコーヒーカップを熱湯などであたためておいてから注いでください。
●できあがったらガラス容器をそのまま保温板に載せて保温してください。
（ただし、保温する時間は15分くらいまでにしてください。）

■連続してコーヒーを作るときは…

●スイッチを「切」にして、**本体を5分以上冷ましてから**「使い方」の手順を繰り返してください。
●**本体が熱いうちに給水したり、動かしたりしないでください。**
浄水フィルターから突然蒸気や熱湯が出て、やけどの恐れがあります。

アイスコーヒーの作り方

準備するもの

◆アイスコーヒー用粉
◆氷
◆シロップ、生クリームなど

作り方

①ホットコーヒーと同じ手順でコーヒーを作ります。
●計量スプーンは「コーヒーカップ用」を使用します。
●水量は水タンクまたはガラス容器の ICE の目盛に合わせます。
②グラスに約8分目の氷を入れて、できたてのコーヒーを注ぎ、かき混ぜて冷やします。

ご注意 アイスコーヒーを1カップ分だけ作ることはできません。2～6カップで作ってください。

ミネラルウォーター使用時のお願い

●硬度200以上のものは使用しないでください。製品内部の水管に湯アカ（ミネラル分）が付着して、ドリップ時間が長くなったり、最後までドリップできなくなる場合があります。
●できるだけ硬度100以下のものを使用してください。
●使用中にドリップ時間が長く感じられましたら、クエン酸洗浄を行ってください。（→P. 10）

お手入れ

●ご使用ごとに必ずお手入れしてください。
●本体・コード・差込みプラグに直接水をかけたり、丸洗いはしないでください。（感電・故障の原因）
●熱湯は使用しないでください。（変形や割れの原因）
●次のものは使用しないでください。
- 台所用中性洗剤以外の洗剤・シンナー・ベンジン・漂白剤など（変色・割れ・劣化・腐食の原因）
- みがき粉・ナイロンたわし・ブラシ・金属製のもの・メラミンスポンジ・スポンジのナイロン面・研磨剤入り洗剤など（表面が傷つく原因）

●化学ぞうきんを使用する場合は、強くふいたり長時間触れさせたりしないでください。（表面が傷ついたり、化学変化を起こす原因）
●食器洗い乾燥機・食器乾燥器は使用しないでください。（部品変形の原因）

部位	お手入れ方法
本体 保温板	①薄めた台所用中性洗剤を乾いた柔らかい布に含ませ、固く絞り、汚れをふき取る ②水で絞った柔らかい布でよくふく ③乾いた柔らかい布で水分をふき取る
水タンク・水タンクふた バスケット・バスケットホルダー ガラス容器・ガラス容器ふた ミルケース・ミルふた	①薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどで洗う ②水洗いしたあと、乾いた柔らかい布でふく ●台所用中性洗剤以外の洗剤などは使用しないでください。 ●ミルケース内のミル刃を変形させたり、ミル刃でけがをしないようご注意ください。
コード・差込みプラグ	乾いた柔らかい布でふく
浄水フィルター	水で流し洗いし、よく乾燥させる（洗剤は使わないでください。） ●目詰まりしている場合は、交換（有料）してください。
ミルケースブラシ	①薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどで洗う ②水洗いしたあと、よく乾かす ●台所用中性洗剤以外の洗剤などは使用しないでください。

湯の出が悪くなったら、クエン酸洗浄を行ってください。

コーヒーメーカーをお使いいただいているうちに水の中に含まれているミネラル分が製品内部の水管などに付着します。これは「湯アカ」といわれているもので、湯アカが付着すると湯の出具合が悪くなり、コーヒーのドリップ量が少なくなったり、浄水フィルターが目詰まりしやすくなります。
湯アカは次の方法で取り除いてください。
●水質により、湯アカのつき具合はかわります。
ミネラル分の多い水質（ミネラルウォーターなど）は、湯アカがつきやすくなります。
●クエン酸洗浄は約3ヵ月に1回が目安です。

クエン酸洗浄のしかた

①ガラス容器にクエン酸小さじ1.5杯(約6g)を入れる
②ガラス容器目盛の「HOTコーヒーカップ 6」までぬるま湯を入れ、クエン酸が水に溶けるまでよくかき混ぜる
③クエン酸溶液を水タンクに入れかえ、水タンクふたを取りつける
④水タンク・バスケット・バスケットホルダーを本体に取りつけ、ガラス容器（ガラス容器ふたを取りつけた状態）を保温板に載せてスイッチを入れる（ドリップする）
⑤クエン酸溶液が水タンクのコーヒーカップ目盛「1」まで減ったときにスイッチを切る
⑥ドリップされたクエン酸溶液が冷めたら、中に混ざっている湯アカ(白い結晶など)を除いたクエン酸溶液を再度水タンクに入れ、④～⑤をくり返す
⑦保温板が十分冷めてから、ガラス容器と水タンク内にあるクエン酸溶液を捨ててすすぎ、クエン酸のにおいを取るために水で数回ドリップする（連続してドリップするときは、スイッチを切った状態で**5分以上**待つ）
●湯の出が悪い場合は再度クエン酸洗浄をしてください。

●洗浄の前に浄水フィルターを必ずはずしてください。
浄水フィルターをつけたままクエン酸洗浄を行うとクエン酸のにおいがついたり、コーヒーの味がかわる原因になります。
また、目詰まりにより、クエン酸溶液が漏れ出す原因になります。

●泡立ち、ふきこぼれ防止のため弊社のピカポット（ポット内容器洗浄用　クエン酸）をお使いください。（別売品）→ P.11
クエン酸（100%）は食品添加物として使用されており、衛生上無害ですが食べないでください。

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

症状	確認事項
スイッチを「入」にしても通電しない	差込みプラグをコンセントに差し込んでいますか?
湯が出ない	•水タンクに水が入っていますか? •水タンクを正しく取りつけていますか?
コーヒー豆が挽けない	•スイッチが「切」になっていますか? •ミルケース・ミルふたを正しく取りつけていますか?

部品の交換・購入について

●損傷した場合は、新しい部品と交換（有料）してください。
●お買い求めの際には製品の型名および部品名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
（ホームページでのご購入は裏表紙参照）

	部品名	部品番号
部品	コーヒーメーカー用ガラス容器（ジャグ）	JAGECVL-○○
部品	コーヒーメーカー用計量スプーン	717250-01
別売品	コーヒーメーカー用浄水フィルター	EC-F01-JY
別売品	ポット内容器洗浄用クエン酸 ピカポット（30g×4包入り）	CD-KB03-J

○○表示は部品色柄記号です。
お求めの際は製品の色柄記号までご指定願います。
（側面シールに表示）
<表示例> 色柄：BA ブラック

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保管のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3. 修理を依頼されるとき

「故障かなと思ったとき」（上記）をご確認のあと、直らない場合は使用を中止し、コンセントから差込みプラグを抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

≪保証期間中≫
製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。
保証書の記載内容に基づき修理いたします。

≪保証期間を経過しているとき≫
修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後 5年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。

仕様

型名	EC-VL60		
電源	交流100V 50/60Hz	ミル部定格時間	30秒
消費電力	（ドリップ部）650W （ミル部）100W	方式	ドリップ式(保温式)
		コードの長さ	1.3m(ゴムコード)
容量	（ドリップ部）最大水容量　810mL （ミル部）コーヒー豆量　7～42g	質量	約2.5kg
		外形寸法(約cm)	幅28×奥行16.5×高さ31

●外形寸法はガラス容器のとっ手を除いた寸法です。
●特定地域（高い山·厳寒地など）においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくおさけください。
●この製品は、日本国内交流 100V 専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance was designed for use in Japan only where the local voltage supply is AC 100V and should not be used in other countries where the voltage and frequency vary. After-sales service for this appliance is not available outside of Japan.
此产品只针对于日本国内专用交流电压 100V 所设计。由于各国所使用电压或电源频率不同，请勿使用于其它地区。另亦无法对此提供售后维修服务。
此產品為針對日本國內專用交流電壓100V所設計。由於各國所使用電壓或電源頻率不同，請勿於其他地區使用。另亦無法對此提供售後維修服務。
본 제품은 일본 국내교류 100V전용으로 설계되었기에 전압이나 전원 주파수가 상이한 외국에서는 사용할 수 없습니다.A/S 또한 불가능합니다.